

平成27年第1回燕市議会定例会

一般質問日程表

質問日		質問者			質問方式	
					一括質問	一問一答
3月5日(木)	午後	1	長井由喜雄	議員		○
		2	白井 丈雄	議員	○	
		3	柳川 隆	議員		○
		4	渡邊 雄三	議員		○
6日(金)	午後	5	樋浦 恵美	議員		○
		6	齋藤 信行	議員	○	
		7	藤井 秀人	議員		○
		8	小林 由明	議員		○
9日(月)	午前	9	土田 昇	議員		○
		10	堀 勝重	議員	○	
	午後	11	山崎 光男	議員	○	
		12	山崎 雅男	議員		○
		13	山本 知克	議員		○
10日(火)	午前	14	大岩 勉	議員		○
		15	タナカ・キン	議員		○
	午後	16	宮路 敏裕	議員		○
		17	渡邊 広宣	議員		○
		18	吉田 勝利	議員	○	

平成27年第1回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	長井由喜雄(一問一答方式)	1. フィンランド生まれの子育て支援制度「ネウボラ」について	(1) 燕市においても燕市版「ネウボラ」に取り組んでみてはいかがか	①フィンランドでおこなわれている「ネウボラ」とはフィンランド語で「アドバイスの場所」を意味し、「貧しい母親にも裕福な母親にも全員に、直接のアドバイスの機会を確保する」という基本理念のもとに「出産・子どもネウボラ」が全ての妊婦・母子・子育て家族の支援をおこなうというものである。現在日本においてもいくつかの自治体がこれを活かした取り組みをおこなっており、燕市における現在の支援を踏まえながら、これらを参考にして燕市版「ネウボラ」に取り組んではいかがか。
		(2) 赤ちゃんに育児パッケージのプレゼントを	①ネウボラの特徴として育児パッケージが妊婦さんにプレゼントされるという。「子育てするなら燕市で」「燕市で生まれてくれてありがとう。これから元気に育ててほしい」の願いを込めて、赤ちゃんの誕生を祝福し、子育てを応援する育児用品を詰め込んだ「育児パッケージ」のプレゼントをしてはいかがか。	
		2. 食物アレルギー対策について	(1) 幼保小中における食物アレルギー対応の取り組みについて	①2012年に起きた調布市での学校給食事故の教訓を活かしながら、国をはじめとして多くの自治体が同様の事故を絶対に起こさないためにあらゆる取り組みをおこなっている。燕市の幼保小中においてアレルギーを持つ児童生徒の状況と対応、そして現状での課題について伺う。 ②新年度を迎えるにあたって、入園、入学、進級する子どもたちと、親の不安に寄り添う対応はどのようにおこなわれているか伺う。
		3. 介護保険について	(1) 第6期介護保険計画について	①第6期介護保険計画案が示されパブリックコメントにも出された。これまでの計画そのものについての意見はどのようなものだったか。計画では待機者572人に対する特養整備は207床で36.2%となっている。その根拠について伺う。 ②特養ホーム120床と小規模特養87床、グループホーム36床について、施設建設の用地などはどのように考えているのか伺う。 ③介護保険料基準額は500円引き上げの6,300円とされている。近隣では加茂市が5,400円、三条市が5,305円で、見附市5,400円が示されているところだ。燕市の基準額は県内でも不名誉ながらトップクラスとなるのではないか。一般会計からの繰り入れで負担軽減をはかるべきではないか。
		(2) 介護報酬単価引き下げの施設運営への影響について	①安倍内閣は介護報酬単価を2.27%引き下げることが閣議決定した。職員の処遇改善の停滞と介護サービスの後退が懸念される事態だ。保険者としてどう考えるか伺う。	
				(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)		
1	長井由喜雄(一問一答方式)		(3) 介護予防・日常生活支援総合事業について	①第6期介護保険計画において介護予防・日常生活支援総合事業については「平成29年4月までに地域支援事業に移行」としている。県内では上越市と南魚沼市が今年の4月から実施、そして三条市は来年4月から移行する計画だ。大幅に引き下げられた単価をさらに引き下げてNPOやシルバー人材センターなどに委託していくというのが実態で、これでは「介護予防」の後退につながる事態ではないか。保険者の考えを伺う。		
2	白井文雄(一括質問方式)	1. 少子化対策について	(1) 対策の方法について	①具体的な男女の出会い的な方策とは何か。 ②児童扶養手当などの現況調査時に、本人の結婚意思を聞くことは無理か。 ③結婚相談所を開設している先進市の事例をどう感じ取るか。これを本市に活かさないか。		
			2. 超高齢化社会を迎えて	(1) 65歳以上の対象者は何人いるのか	①超高齢化社会を迎えて久しいが、本市の直近の65歳以上人口はどれくらいになっているのか。	
				(2) 介護士・看護師の勤務状況の把握について	①労働内容が厳しいと聞くが、介護施設や病医院等での勤務状況は把握しているのか。把握する必要はないのか。	
		(3) 介護士・看護師の充足について		①訪問介護士や看護師は充足しているのか。また、在野の資格免許保持者はどれくらいおり、今後のリカレント体制は大丈夫か。		
		3. 教育行政について	(1) 耐震診断について	①非構造材の耐震補強はどのようになっているのか。(体育館) また、その対策をどう考えるのか。		
			(2) 中学校教員の部活動従事について	①運動経験の有無による教員の部活動従事の実態はどうか。 ②部活動によりオーバーワークとなっているのではないか。 ③部活動従事による本来業務への影響はどうか。 ④部活動従事は超勤対応とすべきでないか。 ⑤部活動に社会人経験者はどれくらい入っているのか。もっと導入することはできないか。どのような方が指導しているのか。 ⑥部活動担当教員の労務改善を図り県に要望は出せないか。		
			(3) 武道の必修化について	①礼法は教えているのか。 ②武道の必要性について教育委員会はどう考えているのか。		
		3	柳川隆(一問一答方式)	1. 日本一輝く燕市について	(1) 日本一とは	数値化について ①主観の相違ということもあり、「日本で1番」というような数値化は難しいのではないか。
					(2) 輝くとは	何をどう捕らえたらそう言えるのか。 ①具体的に市の何がどうなることが「輝く」状況と考えるのか。
(3) 日本一輝く燕市実現のために	文化事業の飛躍的推進 ①今現在実施している様々な教室等(市の教室も含む)の参加者を10年後、参加率で10倍にするという目標をたててみてはどうか。					

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
4	渡邊 雄三 (一問一答方式)	1. 地方創生について	(1) 地方創生戦略の推進について	<p>①地域住民生活等支援のための交付金が、国の2014年度補正予算で創設され、地域の消費喚起と低所得者等の生活支援に取り組むとあるが、本市として、どの様な計画で実施していくのか伺います。</p> <p>②「まち・ひと・しごと」を創生する戦略を立てるための人材の確保について、どのように考えているのか伺います。</p> <p>③周辺市町村との連携の在り方について伺います。</p> <p>④人口社会減の現状と、地方移住推進についての今後について伺います。</p> <p>⑤結婚・出産・子育て・教育の環境整備の現状と今後について伺います。</p>
		2. 高齢者の交通安全について	(1) 高齢者の自転車事故防止について	<p>①高齢者の自転車事故を未然に防ぐためには、自転車の交通ルールをきちんとした教習を通して学習することが必要と思うが考えを伺います。</p> <p>②自転車安全運転講習の受講者に「TSマーク」の加入補助等の特典などを付与することを検討できないか伺います。</p>
		3. 生活道路網の整備について	(1) 高速バス乗場駐車場の整備について	①高速バス新潟市方面乗場側に、駐車場が新設され新年度より共用開始されるが、どのような方法で実施し、利用者に周知していくのか伺います。
		4. 地域防災について	(1) 27年度総合防災訓練実施計画について	<p>①何処で、何を想定して総合防災訓練を実施していくのか伺います。</p> <p>②参加機関・団体は、どの程度を予定しているのか伺います。</p>
5	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 女性の活躍について	(1) 「女性が輝く社会」の実現について	<p>女性が活躍できる社会構築のためには、仕事と家庭の両立支援とともに、あらゆる分野における意思決定の過程に女性が参画できるようにすることなどを通じて、女性が持てる力を最大限に発揮できるようにすることが重要です。</p> <p>女性が活躍できる環境整備の推進について、以下の点について市の考えを伺います。</p> <p>①働きたい女性が働き続けられる環境づくりについて</p> <p>②各種審議会等における女性委員の登用率アップへの取り組みについて</p> <p>③庁内女性管理職の登用について</p>
		2. 若者支援について	(1) 地域若者サポートステーションについて	<p>燕市においては、三条地域若者サポートステーションからの出張相談を週1回火曜日に実施してきました。平成27年度当初予算(案)に、若者就労支援事業として出張相談を週2回実施するとしていますが、以下の点について市の考えを伺います。</p> <p>①出張相談は現在、燕市勤労青少年ホーム(総合文化センター内)で実施していますが、今後も同じ会場で行われるのか。</p> <p>②吉田地区や分水地区での出張相談の実施について(例として、旧吉田庁舎内)</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	樋浦 恵美 (一問一答方式)		(2) 不登校生徒に対する切れ目のない支援について	<p>①文部科学省によると、学校を年間30日以上欠席した不登校の小中学生は、2013年度は約12万人に達しているとしています。 不登校の原因は、いじめや人間関係をめぐる悩み、勉強のつまずきなど複雑です。小中学校や高校に在学中の生徒は、教師からの支援を受けられますが、卒業や中退によって学校を去ると、その接点が途切れてしまいます。自立を後押しする対策が必要であると思いますが、市の考えを伺います。</p> <p>②不登校の子どもたちに多様な学びの場を提供する「フリースクール」があります。フリースクールに通うことで学校に再び登校できるようになった子どももいれば、フリースクールに居場所を見つけ、将来の夢に向かって頑張る子どもたちもいるそうです。 フリースクールと連携して、子どもたちの不登校対策に取り組んでいる自治体もありますが、フリースクールについての市の考えを伺います。</p>
			(3) 奨学金制度の拡充について	<p>①政府は地方の人口回帰を促そうと、卒業後に地方へ就職した大学生などの奨学金返還を支援する取り組みを2015年度中にも始めるとしています。 自治体と地方の産業界が連携して基金を任意で創設し、日本学生支援機構が行う既存の奨学金制度を活用。基金の中から、その地方に就職した学生の奨学金返還を支援する仕組みになっています。 燕市においても、人口流出防止や若者定着の促進などの取り組みが必要であると思いますが、市の考えを伺います。</p>
6	齋藤 信行 (一括質問方式)	1. 大河津分水を世界遺産に	(1) 大河津分水をPRすることによって燕をもっと知ってもらうことはできないか	<p>①越後平野を水害から守り、日本一の穀倉地帯に発展した背景には、大河津分水の完成があったからであり、今現在の新潟があると思います。今現在燕の大河津分水といってもイメージがない。 県央地区の表玄関・JR燕三条駅の観光案内図には大河津分水の文字はあるが、もう少し観光客の皆さんなどにPRする方法はないか伺います。</p> <p>②近年、産業遺産は日本各地で見直され、県内でも油田跡などで保存とともに観光面での活用をする動きがある。大河津分水も防災施設としての側面が強かったが、2009年、土木技術などが評価され「大河津分水路」として国の近代化産業遺産に認定された。以上のことから、佐渡・弥彦国定公園なども名所としてあり、越後一宮の弥彦神社、県最古の国上寺、佐渡の金山などもあり市としても世界遺産に「大河津分水路」と声を上げるのも市のPRではないかと思うが市長の考えをお伺いします。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	齋藤 信行 (一括質問方式)		(2) 世界遺産へPRすることによって定住・活動・交流応援人口などと燕に関心を	①27年度予算で主要施策も人口問題であり燕をPR、関心をもってもらうためにも、燕は洋食器とラーメンのイメージではなく大河津分水を世界遺産ということで、交流人口、観光客などが増えると思うが市長の考えをお伺いします。
		2. 認知症による徘徊者対策についてと高齢者世帯について	(1) 徘徊時の対応のためのネットワーク作りと模擬訓練について	①今回大河の会とスワロークラブで人吉市の認知症による徘徊者対策などについて聞いてきましたところ、徘徊時の対応の模擬訓練や警察や消防との連携などとの連携も確認するということでした。燕市ではどう対応しているのかお伺いします。 ②ひろげよう、つなげよう、オレンジの輪と名前ということで、訓練を毎年持ち回りで認知症サポーター運動を展開しているということですが、市ではどう対応しているのかお伺いします。
			(2) ひとよしSOSキーホルダーについて	①ひとよしSOSキーホルダーはNo.の集約はすべて市役所で行って、登録者は3,795名で外出先で突然倒れ救急搬送された場合などに、いち早く住所・氏名、緊急連絡先等の情報確認を行えるようにするものですということでしたが、市の対応はいかがかお伺いします。
			(3) 命のバトン運動について	①人吉市では認知症や一人暮らし、高齢者世帯などに冷蔵庫内に配置する、命のバトン運動を展開し「救急対応＝既往歴・住所・氏名・旧姓・連絡先」などを記載したボトルを配置した冷蔵庫にステッカーなどで救急車が来て、その人のことがわかるような対応を行っていたが、市の対応はいかがかお伺いします。
		3. おいらん道中におけるきららんとおいらんについて	(1) きららんについて	①おいらん道中でのきららんの活用、ゆるキャラのPRの出番などがあるのかお伺いします。
			(2) おいらんについて	①おいらんに選ばれた人たちをおいらん道中以外で燕のPRをしてもらってもよいのではないかと、考えをお伺いします。
7	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 福祉について	(1) 福祉ガイドブックについて	①利用者サイドにたった介護サービスガイドの作成を考えていないか伺いたい。
			(2) 施設等の活動状況について	①市内にサロンの数はどれ位あり、どのような活動をしているのか。市からの助成金があるのか伺いたい。 ②生きがい活動支援通所事業利用送迎付の箇所はどれ位あるのか、どれ位の収容人数なのか伺いたい。
			(3) 地域包括ケアシステムについて	①地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要であるといわれているが、燕市としてどのような取り組みを考えているのか伺いたい。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	小林由明 (一問一答方式)	1. 若者によるまちづくりの場について	(1) つばめ若者会議事業の今後について	① 来年度より、つばめ若者会議メンバーによる自主運営へ移行していくとのことだが、市が担う役割をどのように考えているのか伺いたい。
			(2) 今宵サミットイン燕市について	① 全国でまちづくりに取り組む人々が集まる今宵サミットが、今年は燕市で開催されることになった。これは、市外市内にむけて、燕市のまちづくりに対する想いや住民とともにまちを育てていくという姿勢、そして燕市の魅力をPRする絶好のチャンスでもあると思うが、市はどのように考えているのか伺いたい。
		2. 子どもたちの安全安心について	(1) 学校における食物アレルギー対応について	① 平成26年6月議会において、食物アレルギーの対応について取り上げたが、その後どのような工夫や取り組みがなされたのか伺いたい。 ② 現在、学校における食物アレルギー対応は、マニュアルに則りつつも学校ごとにより取り組みが異なっていると聞いている。市が果たす役割についての考え方を伺いたい。
			3. 公共施設の整備について	(1) 体育施設について
4. 安全安心なまちづくりまち育て	(1) 空き家、空き倉庫、空き工場、管理不全建物の削減策について	① 平成27年度に予定している、空き家、空き倉庫、空き工場、管理不全建物等削減のための取り組みを伺いたい。 ② 住民から建物解体希望者を募り、市が複数の物件を一括して解体業務を発注することで、スケールメリットによる解体費用の圧縮を図り、所有者の費用負担を軽減することで管理不全建物等の削減を促進できないか。 ③ DIYの普及啓発を行い、所有者等による維持管理の推進や、また、建物解体後の固定資産税猶予などの施策を展開し、それら建物の削減等を推進していただきたいかがか。		
9	土田昇 (一問一答方式)	1. 国保税の問題点について	(1) 「広域化、都道府県単位化」の問題点について	① まず最初に今年度で予定されている、国保制度改定の内容について伺う。 その内容については「広域化、都道府県単位化」にすることで現在進められています。 その内容は 1) 財政運営は都道府県が担う。 2) 都道府県は、市町村に「分賦金」の納付を求め、市町村「分賦金」を納めるのに必要な保険料率・額を定め、住民から保険料を徴収する。 3) 都道府県は、市町村規模別の「収納率目標」を設定、賦課、徴収を指導する。  (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	土田昇 (一問一答方式)			<p>4) 保険給付の決定、資格管理、申請届出などの窓口業務、保険事業は引き続き市町村が担う。</p> <p>以上の4点であります。この内容について「各市町村は、これでは市町村の苦しみは従来どおりで変わらない」全国の知事会としても、被保険者は低所得なのに、保険料が高い、という「国保の構造的な問題は解決されていない、国に1兆円の国保負担を強く求めています。市長会としてこの内容をどのように受けとめていくのか、さらに燕市長としての見解について伺う。</p> <p>② 先の12月議会の質問と答弁について再度伺います。</p> <p>1) 国保料が県内2番目の高い金額になっているが、その理由として、高齢化医療技術の進歩と答弁しているが、県内どこも同じと思うし、さらには燕市の医療費は、国や県を下回っているとしているが、その根拠について伺う。</p> <p>2) 国保世帯については昨年10月末で1万924世帯と答弁しているしさらに今後も2%~3%減少すると推測していますが、その理由と最近の数字について伺います。</p> <p>3) 12月議会で国保基金は2,285万円としているが、現在どのような状況になっているか伺う。</p> <p>4) 収納率については94.4%それ以後どのように変化しているかさらに滞納繰越金額について、平成25年度末で4億4,800万円余で、徴収機構の収納額は1,182万6,000円と答弁しているが、それ以後どのように変化してきているのか伺う。</p> <p>5) 資格証については平成26年11月末現在73世帯89人、短期証については319世帯602人としているが、この点についても再度確認したいと思っております。</p>
		2. 農業問題について	(1) 農地中間管理機構の農地集約の内容について	<p>① 1月24日付けの新聞報道によれば、県内の農地集積は2014年12月末時点で約1,500ヘクタールで県が初年度の目標とした、3,000ヘクタールの半分にとどまったと報道されました。燕市では、「借り手」の農業件数と面積はどのような状況であったのか伺うと同時に「出し手」の件数と面積についても伺います。</p> <p>② 農地中間管理機構経由で「出し手」の方々に入った、燕市の総額の金額について伺うと同時に今後の見通しも含めて伺います。</p> <p>③ 農地中間管理機構から農地を借り受けている農業者等々が対象者になっている「稲作農業の体質強化緊急対策事業」で燕市の対象者数と申込件数はどのようになっているか伺うと同時に、今年の当初予算の中で、農業の競争力強化の800万円は多少関係あると思うが、その内容について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	土田昇 (一問一答方式)	3. 水道問題について	(1) 用地問題等々について	<p>① 3地区の浄水場を更新するよりも、1ヶ所に統合しているが、来年度の基本計画の中でどれぐらいの面積が必要になってくるのか明確になると思うが、その点について伺う。</p> <p>② 用地取得に関しては、早期に取り組むべきと考えるが、その点について伺う。</p> <p>③ 今後10年計画で進めるとしているが、10年経過しても既存の施設の中でも十分使用が可能な状況があると思うがその対応について伺う。(西太田浄水場の貯水槽等々の判断について)</p>
10	堀勝重 (一括質問方式)	1. 少子化対策について	(1) 対策事業の実施について	① 12月の一般質問において、少子化対策における官民協働事業(出逢いの場パーティー等)の実施について伺ったところ、前向きな答弁をいただいたが、現在の進捗状況を伺う。
		2. 定期露店市の充実について	(1) 活性化について	① 12月の一般質問において、燕、吉田、分水各定期露店市のPRについて伺ったところ、前向きな答弁をいただいたが、現在の進捗状況を伺う。
		3. 安心・安全な町づくりについて	(1) 防犯対策について	① 市内の保育園、幼稚園、小・中学校の防犯カメラの設置状況及び万が一不審者等の侵入があった場合、子ども達の安全確保について、市の考えを伺う。
		4. 子どもを育てやすいまちづくりについて	(1) 学童保育について	① 市内学童保育の開設時間の延長及び対象学年の引き上げについて、市の考えを伺う。
11	山崎光男 (一括質問方式)	1. 燕市の魅力のさらなる発信について	(1) 香林堂を中心とした吉田商店街の活性化について	① 燕市吉田地区の「地元遺産」で、昨年12月、国の有形文化財に登録された香林堂を中心に据えて、燕市の交流人口の増加につなげられないか伺う。
			(2) きららんのゆるキャラGPエントリーについて	① 毎年全国的に注目され、地域おこしの一翼を担う「ゆるキャラグランプリ」。今年は11月に浜松で開催されるが、燕市を代表するゆるキャラ「きららん」をエントリーして、燕市の応援人口の増加につなげられないか伺う。
		2. 燕市におけるテニスの環境整備について	(1) テニスをめぐる諸問題について	① 日本人選手の大活躍によって、テニスは急速に人気が高まっている。燕市では市民からの指摘で、1ヵ月分のコート进行のために朝早くから並んだり、電話予約だけでなく、申請書の記入も義務づけられていたり、サークルと学校が優先してコートを使用し、一般市民の利用が後回しにされているといった数々の問題を抱えている。これらが改善されないか伺う。

発言の順序	発 言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
12	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 障がい福祉サービスの充実について	(1) 事業所施設環境の現状と支援施策について	<p>①主として就労継続支援B型事業の施設である特定非営利活動法人らいふすてーじ障がい福祉サービス事業所「すきっぷ」(旧吉田八千代保育園)や各事業所の施設環境の現状と耐震性について伺う。</p> <p>②障がい者の方が地域でより自立して生活を営める環境づくりを促進するための就労継続支援事業の充実と事業所等に対する支援施策についての所見を伺う。</p> <p>③就労して働く事や、働きを通して地域社会で必要とされ、自ら居場所を見出す事は障がいがあるなしに関わらず人として、生活して行くうえで大切であるが、現実には重度の障がいや問題を抱え長期在宅等働く事が困難な方、自らの障がい状況に相応しい仕事がない方など諸問題に向け本市に於いて障がい福祉施策の充実を図るための現状と取り組み状況そして就労に関する支援体制を伺う。</p> <p>④本市の特別支援学校に通う障がいがある子どもたちの人数と進路状況を伺う。</p> <p>⑤特別支援学級・学校に通う子どもたちの可能性を最大限にくみ取りながら学校施設等に於ける進級・進路に向け相談体制の充実が重要かと思われるが、現状と課題そして今後の取り組みに対して伺う。</p>
		2. 空き家等適正管理及びまちなか住宅促進事業について (意向調査結果より)	(1) 本市の空き家・空き地の現状について	<p>①平成25年に事前現況調査・実態調査・意向調査を実施して、空き家の半数以上がDIDD(人口集中地区)である。所有者による適切な維持管理や利活用がなされなければ住環境・景観の悪化・防犯・防災上等の危険性が高く、地域活力の低下や地域コミュニティへの影響も懸念される。</p> <p>地域の実情に応じた景観の保全や安全・安心な住環境の確保に向けて意向調査後どのように進めていく考えなのか伺う。</p> <p>②管理不全の空き家等に対する実態調査・助言または指導・勧告・命令・公表・代執行と行政措置の手順があるが直近の動向を伺う。</p> <p>③空き地の意向調査結果では20年以上の長期にわたり空き地の比率が高く、維持管理に困り活用に対しても8割以上が困っている結果が示されたが、市としての動向を伺う。</p>
			(2) 空き家・空き地活用バンクについて	<p>①意向調査結果によると空き家所有者等の居住地は、市内在住が64.4%であり7割に満たないが、本市・県内外の所有者等の居住地の空き家・空き地活用バンクの登録状況と市としての方向性について伺う。</p> <p>②空き家経過年数が低く利活用の可能性の高い物件に対して所有者より同意を得て福祉・教育関係施設として活用できないか伺う。</p>
			(3) 空き家未然防止策について	<p>①高齢者世帯や高齢単身世帯等判断できなくなる前に処分方法を検討していただくか活用するにしても前段階で所有者の意向を聞く事により未然に防ぐ事も考えられるのではないかと所見を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
13	山本知克(一問一答方式)	1. 個人情報の保護について	(1) 個人情報の保護について	①全国でも広まりつつある、第三者請求に関わる本人通知制度について燕市ではどのように考えているか。 ②守られるべき、個人情報が他者より請求されていても情報は守られているか燕市としての考えを伺う。
		2. 地域包括支援について	(1) 介護者の人材不足	①大介護時代を迎え今後介護従事者の不足が見込まれ、民間施設では募集しても介護従事者が集まりにくい状況にある。 その中で潜在介護士の再就職斡旋・学生や前期高齢者など多様な世代を対象にした施設見学会や研修支援等が考えられる。 また、在宅介護の為の訪問ヘルパーの不足も顕著であり介護従事者の養成や待遇改善についてどのように考えているか伺う。
			(2) 一般高齢者への支援	①要支援・要介護者が増え続けている現状において、高齢者の介護予防としての対策について伺う。
			(3) 高齢者の見守り支援体制について	①人吉市を視察した際に採用されていた認知対策キーホルダーについて、現在燕市でも貸し出している追跡用探知機があるが、衣類に名前を記載したりすることは初期段階の人になかなか受け入れがたいと思う。ナンバーのみを記載したキーホルダーを身につけたり、手荷物につけるなりして、情報を役所・警察・消防と共有することにより忘れ物や、徘徊者発見について効果を上げているようだが燕市でも取り組んではどうか伺う。
			(4) 介護支援専門相談員との連携	①現在ケアマネージャー・介護相談員等により介護者の家族を交えてサービス提供者会議が行われているが、一部市民よりサービス内容について一律の説明が欲しいとの意見がある。わかり易いガイドブック等を作成し説明してはどうか。
		3. 選挙における投票率アップの一つとして	(1) 有権者の利便性向上、利用状況を改善し投票率アップにつなげる	①前任期日前投票者の投票率アップの為、利用者の便宜を図るために市役所までバスを運行したが利用状況が少なく今後はどう考えているか伺う。 ②12月23日読売新聞の投稿欄に記載されていた記事によると、記載台の高さについて、お年寄りにも使いやすいように改善が必要とのことであった。全国的には障がい者向けの低い物・車いす向けの物などもあるが燕市ではどうか伺う。 ③昨年12月議会において、同僚議員が質問されていたポスター掲示板の位置について、合併前からの位置を引き継いでいる物で、住宅地や商業地の分布や変化に対応し見直しを行うと回答されていたが、県議選も予定されておりその後の検討結果について伺う。
		4. 合併式典の中で南相馬市との関わりについて	(1) 人的交流	①東日本大震災で、避難後帰省された方々との記念事業を合併10周年記念イベントに組み入れることはできないか。飛燕太鼓等とのコラボで演奏会など事業計画について伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	大岩勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 東京オリンピック事前合宿の準備について	①アーチェリーを当面のターゲットとされたが、他種目を考えたらどうか伺う。 ②県内公立高校の特色化選抜で吉田高校は自転車競技男子、アーチェリー男女を募集したにもかかわらず、出願はなかったが、どう思われるか伺う。
			(2) 旧・燕工業高校跡地の利活用について	①事業者提案制度を導入されるが、市長として「率先励行」する姿勢が足りないのではないか伺う。 ②旧・燕工業高校の設立に至った歴史と「千万無量」な事実をよく考え、十分に検討認識されたらどうか伺う。
		2. 教育振興対策について	(1) 小中学校「道徳」教科教化について	①小中学校の学習指導要領改定案について伺う。 ②特色ある教育実践校・園に燕東小学校が優良賞を受賞したが、その取組みについて伺う。
		3. 人口減少対策の支援策について	(1) 圏域のけん引役を担う拠点都市に対し、地方交付税を上乗せ、財政支援のポイントについて	①自治体間で連携協約を結び、条件を満たせば、地方交付税を増額支援される事は把握されているか伺う。
			(2) 東京圏一極集中が、加速であるが、燕市の転入者人口、転出者人口の現状について	①東京圏の転入超過は、13年から計12,884人増え、新潟県でも転出超過は、13年度は5,132人、14年度は5,518人であるが、燕市の現状を伺う。
			(3) 男女の出会いサポート事業について	①晩婚化、未婚化を解消するための一助として、事業の総合的展開支援について伺う。 ②ナイナイのお見合い大作戦の様なイベントの開催について伺う。
15	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 地域産業ブランド化推進事業について	(1) 金属酒器乾杯運動の推進について	①昨年、12月5日の全員協議会で、(仮称)「燕市金属酒器による乾杯を推進する条例」の制定が提案された。私を含め、多くの議員から条例となると無理があるのではないかとの意見があり、再検討となった。年が明け、1月5日の賀詞交換では金属酒器による乾杯があり、市長はスピーチの中で今日が乾杯運動のキックオフとの発言をされた。しかし、運動を推進するにしても、ホテルや居酒屋等の飲食店の協力が不可欠である。飲食店とはどんな話し合いをされているのか。 ②使用されるぐい呑みやタンブラーの金額はいくら位のもを想定しているのか。 ③飲食店が酒器を購入する際、市は助成金を負担する考えはあるのか。 ④「乾杯条例」制定の動きが全国の自治体で広がっている。多くは日本酒によるものだが、中にはワインや梅酒というものもある。酒器を限定するものは数が少ないと思うが、全国ではどういう例があるのか。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	タナカ・キン (一問一答方式)			⑤いずれは「金属酒器による乾杯条例」を目指しているのか。
			(2) マイカップ運動の推進について	①燕市の製品を広くアピールするのは大いに結構なことである。具体的な内容についてお聞きしたい。
		2. 組織のあり方について	(1) 部長制について	①合併して10年目になる、現在の部長制も見直す時期に来ているのではないかと。燕市の職員数で11人の部長(級)は他市と比較して多すぎるのではないかと。 ②部長11人にかかる人件費について。
			(2) 副部長について	①平成27年度に健康福祉部に副部長を置くとのことである。理由についてお聞きしたい。 ②今後、他の部でも副部長を考えていただけるのか。
		3. 旧燕工業高校跡地の利活用について	(1) 「事業者提案制度」について	①この手法はPPP方式というのだそうだが、内容と他市での事例についてお聞きしたい。 ②あらゆる活用策を検討してきたとのことだが、いままで、どんな意見、提案がされたのか。 ③土地面積が41,597.6㎡と坪にして約12,605坪の広さである。他の例を見るまでも無く、選挙なら、利活用をめぐり争点になるような物件である。いろいろな意見・提案を聞き、市長の責任において方向性を決定するのが市長の仕事であると思うが。
16	宮路敏裕 (一問一答方式)	1. 柏崎刈羽原発について	(1) 燕市民のための安全対策について	①福島第一原発事故から4年、高濃度汚染水の処理は計画が遅れ、事故原因の究明も十分に成されていない事態の一方、鹿児島県の川内原発、福井県の高浜原発が原子力規制委員会の「適合」を受けている。東京電力は事業計画に柏崎刈羽原発の再稼働を明記し、6・7号機の審査申請を行っている。あらためて、柏崎刈羽原発の再稼働問題の認識を伺う。 ②再稼働は「審査」に適合しても、「地元合意」がなければ、すすめることはできない。万が一、福島原発事故のような過酷事故が起きれば、その被害は原発立地自治体にとどまらない。県内、すべての自治体が東電と安全協定を締結していることも、市民の安全のための必要な措置として当然である。再稼働の条件としての「地元合意」が新潟県と柏崎市、刈羽村だけということは、不合理であると考えているが認識を伺う。 ③原子力規制委員会による適合性審査基準に「避難計画」は含まれていない。事故発生時の避難対策は国が責任を負うのではなく、地元自治体まかせになっている。自治体が策定する「避難計画」が妥当かどうかの判断をする国の機関もないのが現状である。一方で、国は「審査」に適合したら、順次再稼働させていくと、明言している。これでは、国の姿勢はあまりにも、無責任ではないかと考えるが如何か。また、これで実効性のある「避難計画」を本市としても作れるのか認識を伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
16	宮路敏裕(一問一答方式)	2. 就学援助制度について	(1) 燕市における適用状況について	①経済的に困難のある家庭の小、中学生へ学用品などを補助する「就学援助制度」が利用されているが、生活保護基準の引き下げに連動して、いままで援助を受けていた子どもたちが受けられない事態が、全国のケースではある。本市においてどのように、対応、配慮しているのか。また適用率について、平成21年度から25年度の小学校・中学校合計の適用率を年度別に伺う。 ②「制度」の適用基準に該当して申請すべき人が申請していないことがないことを願うが、周知方法、申請書の提出の仕方、年度途中でも申請するケースがあるかどうか伺う。
17	渡邊広宣(一問一答方式)	1. 新年度予算について	(1) 新年度予算の3つの柱について	①人口増戦略の更なる強化について伺う。 ②産業の活性化や教育、子育て環境の整備について伺う。 ③福祉・医療サービスの充実について伺う。
		2. 平成の大合併について	(1) 合併10年目にあたって	①合併10年目を迎えるにあたっての検証と評価(功罪)について伺う。 ②10年目以降、本市が最重要課題とすべき施策について伺う。
		3. 行政(公)サービスの見直しについて	(1) 恒久サービスと臨時的サービスの提供について	①時代の変遷に関係なく提供される行政サービスと短期的(臨時的)に行われるサービスの見直しについて伺う。 ②減少する分野に予算資源を投入する財政措置のバランス感覚について伺う。(例：少子化対策、中心市街地対策、農業政策など)
18	吉田勝利(一括質問方式)	1. 世帯台帳と個人情報との関係について	(1) 世帯台帳の状況が移動があった時の市よりの状況内容通知はどの範囲まで公開してもよいのか、また、市役所の部、課の間でもこの情報が壁になっていないのか	①市民課より、“世帯台帳”に移動のあった時、その内容を当該自治会の会長宛に通知されております。ところで、この通知内容が個人情報と関係している場合もあるのでしょうか。今の生活環境の中では、他人にあまり干渉されたくないと思っている方もいらっしゃると思います。ですから転出、転入があっても挨拶もないということも珍しいことではないようです。 先頃、次のようなことがありました。市より届いた“世帯台帳”の状況で消除(転出)となった方がおられましたのでその方の居られた班の班長さんにその旨を知らせに行った所、班長さんは、その方から寄付金もいただいたし、市よりの配り物も渡してきましたので消除は間違いではないのかとのことでした。実際にその方はそのまま元の所に住んでおりました。独り暮らしや、高齢者の場合、その方の子供さんから同居しようとして他市への移動ということになりますが、今回は、子供さんが転出の手続きをされたが、本人はそちらは住みにくいとすぐこちらに戻ってこられたようでした。 自治会の役員がこれらのことも把握しておくのは難しいのが現状です。そこでこの通知書は回覧で自治会に回してもよいのでしょうかお聞きします。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
18	吉田勝利 (一括質問方式)	2. 災害時の備品備蓄状況について	(1) 災害といっても地震、風水害、地盤沈下、崩落等広い範囲での想定の上での備蓄を考える必要があると思うが、また、備蓄場所についてはどう考えているのか	<p>現在、これほど個人情報に利用されている世の中ですから必要最小限の公開に抑えるべきと思いますがその範囲は誠にもって難しいところです。市役所の部・課の中で他の部・課との間で個人情報との関係の壁はないのでしょうか。</p> <p>燕市においては、地球温暖化による異常気象から主に大雨水害の方に意識が向いているように見えるが、しかし2004年の新潟県中越地震のことについて心配をしております。といいますのも先日の三陸沖の二つの地震が2011年の東日本大震災の余震であるとの説明がありました。そうすると、中越地震の余震なのかまた別の日本海側北信越に大きな地震が起こることもありえることと思います。そんな中で災害時の緊急物資備品の備蓄は大変大事なことと考えております。そこでお聞きいたします。</p> <p>①現在市で備蓄品はどのような災害を想定したうえで備蓄しておりますか。</p> <p>②備蓄の量は、それぞれの備蓄品によって異なってくると思うが市内で何ヶ所ぐらいの分散備蓄場所をキープされておりますか。</p> <p>③現在の種類は、他県・市の備蓄の状況から見て不足しているところがありますか。</p> <p>④水の関係から、鍋・ケトル・ボール・ザル・バケツ等燕製品は備蓄品として大量に用意すべきものと思いますがその点どう考えておりますか。</p> <p>⑤インスタント食品、レトルト食品等で金属製容器など燕製品の必要性和関心度が薄れているようだが、寒い時はやはりお湯や温かい物が身ばかりか心まで暖くなる筈です。緊急時の備蓄品として他県に売り込む考えはありませんか。</p> <p>⑥旧燕工業高校施設にこれら備品の備蓄がされておりましたが、跡地利用との関係はどうなるのですか。また仮にこの備蓄品を緊急に搬出するような災害が起こったとしたらトラック等の運搬手段に障害はないのでしょうか。</p>